

# TDM 推進委員会見聞録 (第九章)

## 社会実験に向けて最終確認

第 9 回 TDM 推進委員会が、平成 17 年 11 月 22 日 (火) 午後 1:30 より、ウェルネスさがみはら会議室で行われました。

今回は、社会実験を実施する前の最後の委員会となりますので、内容についての最終確認を行いました。実験内容の大きな変更はありませんでしたが、PR 活動の方法について、マスメディアなどの活用が提案されました。

また、実施効果が明らかな一部施策については、本格実施を行っており、その結果についての報告もありました。

これから実験までの期間は詳細な調整を進めていき、社会実験の準備を整えていきますので、委員のみなさんの協力意識を確認して、閉会となりました。



## 議題について

高橋委員長の進行により議題が進められました。以下その内容を掲載します。

### (1) TDM 実験メニューシート(案)について

それぞれの実験内容を整理した「TDM 実験メニューシート」に基づいて、実験の内容や期待させる効果、検証方法などについての説明がありました。8 枚ものシートの数が、今回の社会実験の規模の大きさを現しています。

また、「バスへの転換による自家用車削減」の実験については、当委員会とは別に、専門的に検討を進める「バス運行検討連絡会」にて議論を行っていますので、その中間報告がありました。現在は第 1 回の開催が終わり、周辺企業の従業員の方々へのアンケートが実施されているところです。

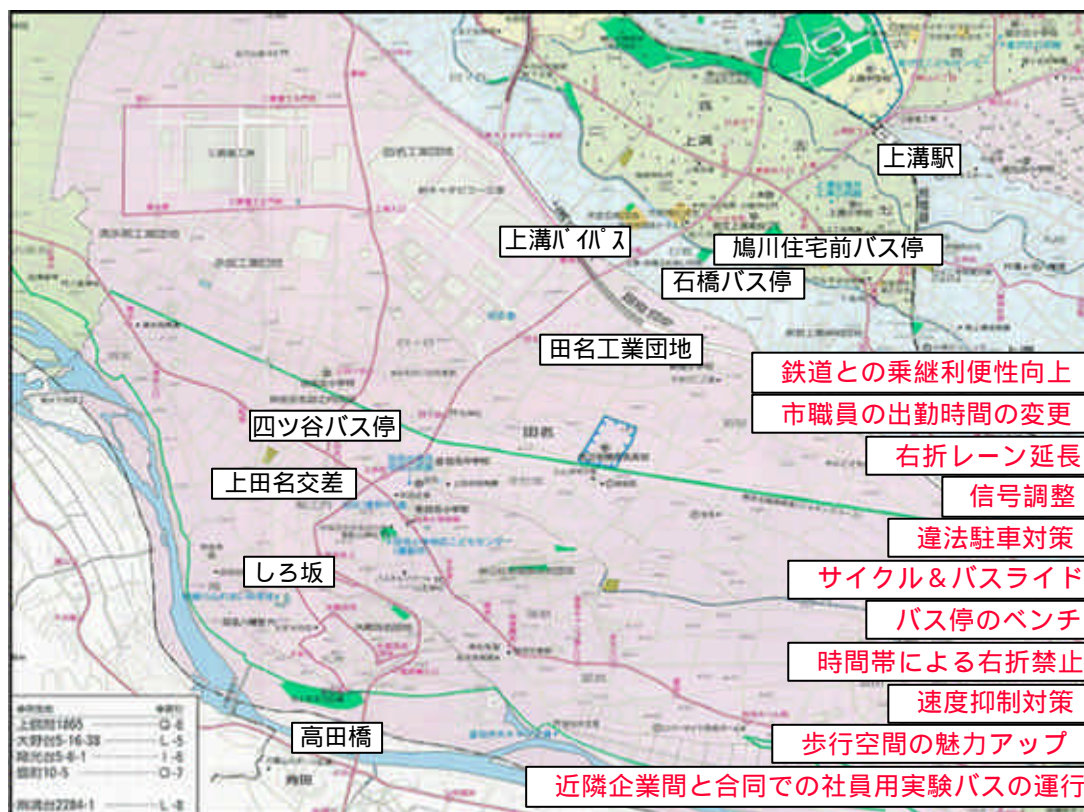
なお、効果の明らかな工業団地入口交差点の右折レーン延伸については、他の実験時期を待たずに本格実施をすることになっていましたので、先日神奈川県相模原土木事務所により、工事が行われました。その工事前と工事後の映像が放映されて、ボトルネックが解消されている様子がよく分かりました。



### (2) 今後のスケジュールについて

今後のスケジュールとしては、全体の社会実験を 1 月 23 日 (月) から 27 日 (金) で実施する予定で、その後効果検証等を行い、3 月に行う第 10 回の委員会で報告する予定です。

## 社会実験の主なメニュー



主な意見交換は次のとおりです。

- ・ 右折レーンの実施や信号現示の調整は実験として行うのか。あるいは恒久的な施策として、すぐに本格実施をするのか。  
本格実施できるものは、実験を通さずに実施したい。また、その時期は他の施策との足並みを揃えるのではなく、関係機関との調整が済み次第実施してもよい。

### (3) 今後の進め方について

社会実験実施後には、実験メニューについて効果や実現性などを検証しまして、その結果を第10回の委員会で報告します。

実験期間中につきましては、多くの皆様がマイカー利用を控え、バスを利用するなど「TDM社会実験」に参加していただくよう、ご理解・ご協力をお願い申し上げます。

詳しい会議録については、相模原市ホームページの「審議会等の情報」よりお入りください。次回は3月下旬に開催予定です。